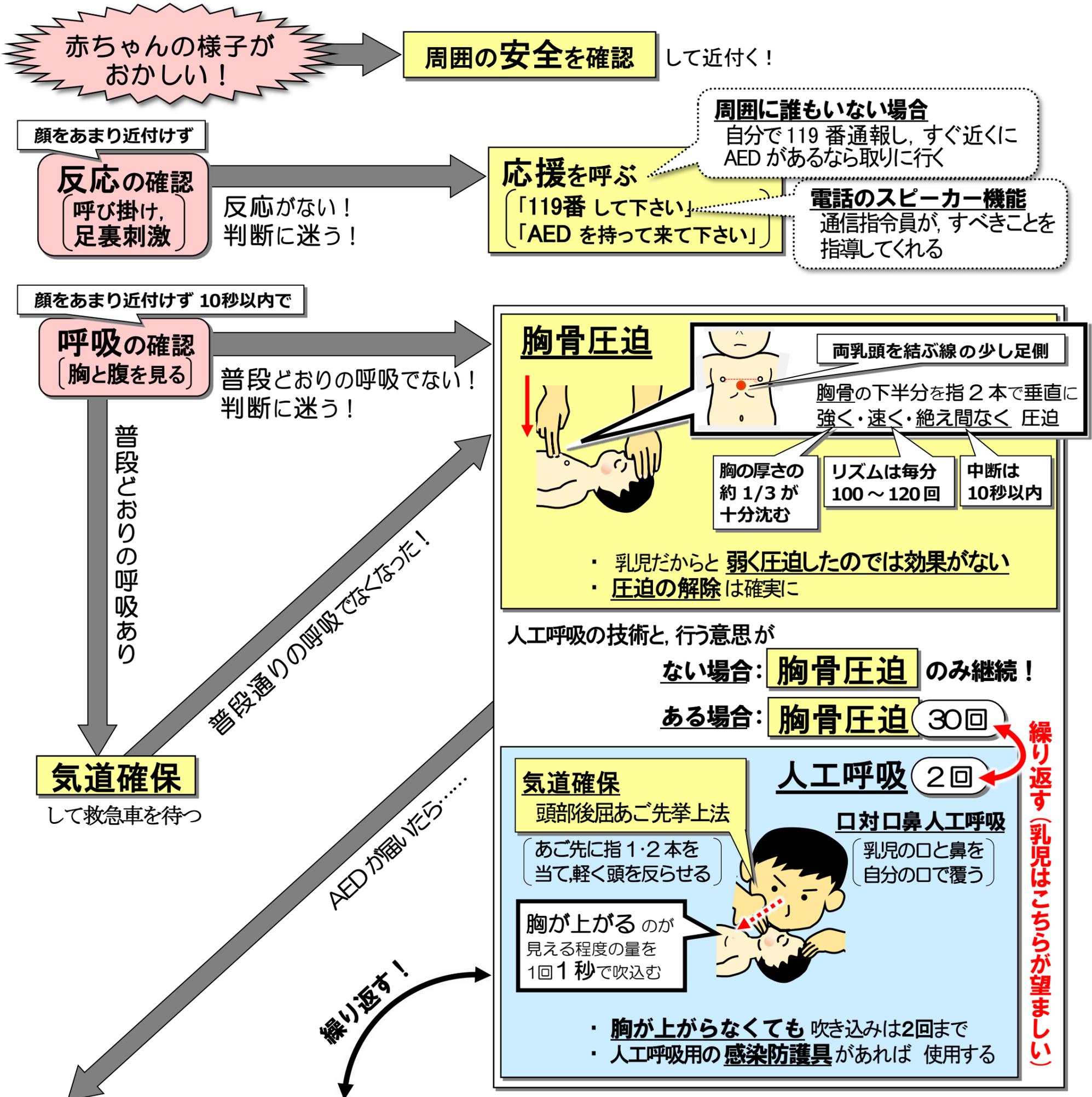


心肺蘇生法 (乳児：1歳未満)



AED 操作

離れて!

- AEDを準備する間もできるだけ胸骨圧迫を続ける!
- 心電図解析や電気ショックの際は、誰も乳児の体に触れない!

- ### 心肺蘇生を中止するのは
- ★ 救急隊員と交代したとき (交代するまでは、中断せず継続!)
 - ★ 普段どおりの呼吸、呼び掛け・足裏刺激への反応が認められたとき (AEDの電極パッドや電源は、そのままにして救急車を待つ)

AED操作

いくつかの機種がありますが、同じような操作手順です。
電源を入れると、音声メッセージと点滅ランプで、
実施すべきことを指示してくれます。

① 電源を入れる

電源ボタンを押すタイプ

フタを開けると自動で電源が入るタイプ

② 電極パッドを貼る

しっかり肌に密着させて

コネクタをランプが点滅するソケットに差し込む

心電図の解析があり、ボタンを押す指示のメッセージが出たら…

③ ショックボタンを押す

音声メッセージの例

「ショックが必要です。充電しています……ボタンを押して下さい」
「ショックは不要です」

誰も乳児に触れていないことを確認してから…

ショックボタン を押します。

※一部の機種ではショックボタンが無く自動的に電気が流れるものがあります！

ただちに **胸骨圧迫** を再開します。

AEDは2分おきに自動的に心電図解析を行います。

注意: 電極パッドあるいはモード切替スイッチ

未就学児用パッド（未就学児用モード）を使用する！

※ なければ小学生～大人用（通常モード）で代用するが、パッドどうしが接触しない事！

胸に {
水や汗 ⇨ 拭く！（タオル等で）
貼り薬 ⇨ 剥がす！（肌に残った薬剤は拭き取る）
埋め込まれた医療器具 ⇨ 出っ張りを避けてパッドを貼る！